八千浦（やちほ）地区

（新潟県上越市）

- 計　画　期　間　平成 20 年度～平成 24 年度
- 面　　積　180ｈａ
- 交付対象事業費　835 百万円
- 市人口　185,892 人

ポイント　LNG 火力発電所の背後地区として産業機能を支える安心して暮らせる魅力ある都市環境の形成

地区概要　LNG 火力発電所の背後地区にふさわしい都市環境の整備を図るため、道路、雨水排水施設等未整備な都市基盤の整備と地区の特徴である保安林等緑を活かした魅力ある安全で快適な市街地の形成を図る。

目　標
・地区の問題を解消する都市基盤の整備を行い安全で快適な生活ができる市街地を形成する。
・地区の資源を保全・活用することにより地区の魅力向上を図るとともに、地域住民の意識高揚を図る。

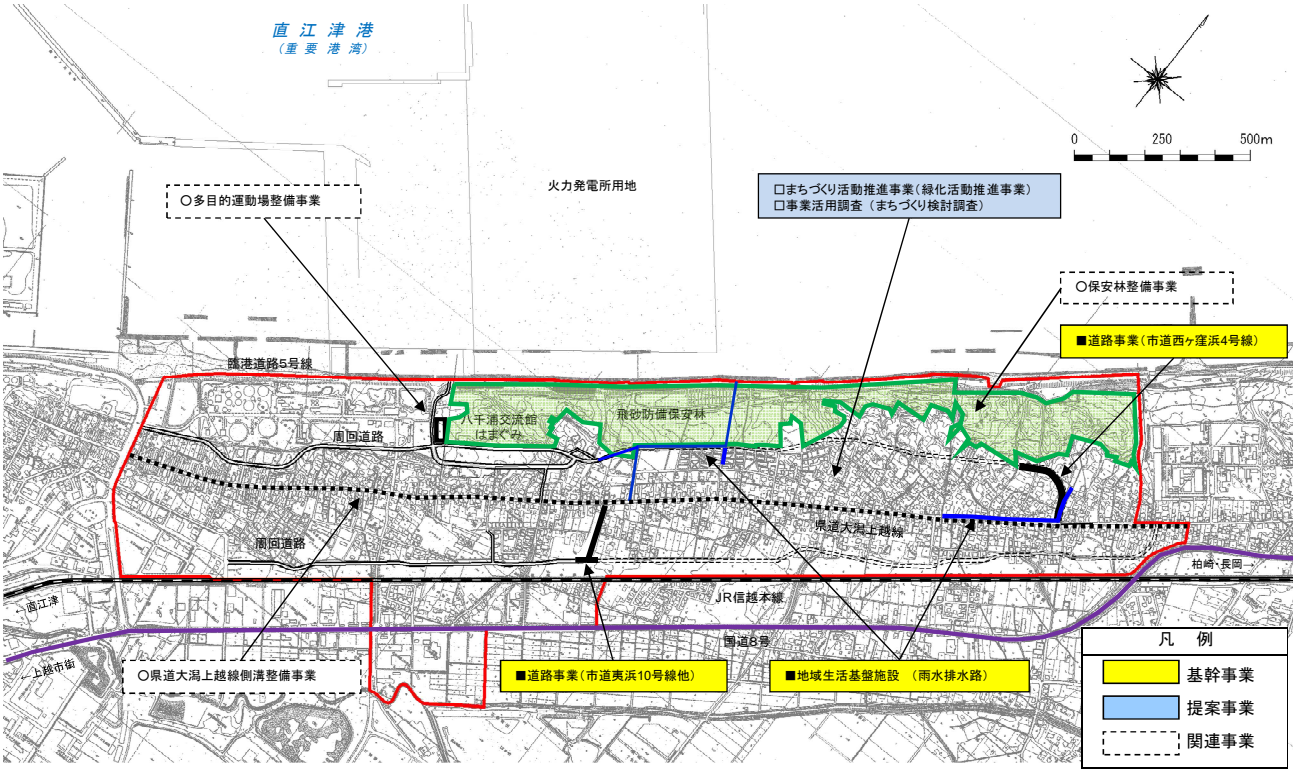
指　標

安全で快適な市街地の形成を図るための地区の問題を解消する都市基盤の整備効果を指標とする。また地域資源を活用し魅力向上を図るための住民コミュニティ力の向上を指標とする。

項　目	現況値	（年）	→	確定値	（年）
排水不良面積	5.7ha	（H19）		3.2ha	（H24）
地域住民のまちづくり活動	75 人/5 年	（H19）		191 人/5 年	（H24）

事業内容

基幹事業（832 百万円）　道路事業（W=8.24m　L=475m）
地域生活基盤施設：雨水排水路（φ1000～2000mm　L=1145m）
提案事業（　3 百万円）　緑化活動推進事業　まちづくり検討調査



地区の現況と課題

八千浦地区は北側に隣接した埋立地に LNG 火力発電所の建設（H19.3 着工、H24.7 運転開始予定）が計画され、地区の重要性が高まるとともに発電所と地元の調和がとれた地域づくりが求められている。しかし、本地区は県道大潟上越線（旧国道8号）を中心に住宅地を主体とした旧態依然の市街地が形成されており、県道大潟上越線は幅員が約 7m と狭く歩道もなく、また生活道路も幅員 4m未満の道路が多いことから生活環境や防災性の向上を図る道路整備が課題である。雨水排水は、地下水位が高く涵養機能が弱く、信越本線や国道8号などの整備により南側方向への雨水排水路の分断などの要因により大雨時に湛水などが発生しているため、排水不良を解消する雨水排水施設の整備が課題である。また、地区には海岸線や保安林などの日本海沿岸部の地形や気候などから長い年月をかけて形成されてきた資源があり地区の魅力向上を図るため有効に活用することが課題である。

平成 17 年度からは、火力発電所建設に伴う地域振興事業により、交流施設や周回道路（一部）、雨水排水路（一部）の整備が行われており、火力発電所の背後地区にふさわしい都市環境の整備改善が進められている。

▲空から見た直江津港

▲歩道がない地区の幹線道路

▲狭隘な生活道路

▲湛水している状況

提案事業の特徴

緑化活動推進事業

住民が主体的に行う緑化活動などについて住民とともに検討し、保安林の管理について、県・市・住民が協働し、効率的に保安林の維持・管理活動を続けていくため、住民が主体となった管理組織づくりを支援する。

まちづくり検討調査

今後のまちづくりを進めていく上で、まちづくりの方針を検討する。

計画策定プロセス

地域振興調査検討委員会

LNG 火力発電所の立地を契機とした地域振興について、地元関係者からなる委員会を組織し、アンケート調査により地元意向を把握しながら八千浦地区の生活環境整備の方向性などの検討を実施。

八千浦地区の振興と生活環境の向上・改善を図るため、地区住民のコミュニティの醸成を目的とした交流施設のあり方について検討を実施。

▲道路整備後

▲雨水排水管施工時

▲保安林整備検討会議

▲地元住民による保安林整備

▲地元住民による植栽活動

▲交流施設